



「ハローワークインターネットサービスに新機能が追加」

●ハローワークインターネットサービスの画面

前回のリニューアルにより、インターネットを通じて求人票を提出できるようになり便利になりました。今回さらに新機能が追加されます。



マニュアルはここにありますが、読むのがたいへんです(笑)

●事業所向け3つの機能

	項目
1	オンラインハローワーク紹介が利用できる
2	求職者からオンラインで応募があった場合、応募書類の管理や採否入力の効率化
3	求職者からの応募を直接受けることができる(オンライン自主応募)

●オンライン自主応募メリット・デメリット

メリット	デメリット
求職者はハローワークに登録することなく応募ができる	求職者は複数応募が簡単にできるため辞退が増える
求人者はハローワークを介さず直接、面接ができる	職業紹介ではないため助成金の対象とならない
ハローワーク登録者以外からの応募が期待できる	職業紹介が行われなため採用のミスマッチ増も?

2020年1月6日からハローワークインターネットサービス(以下、「HWIS」という。)がリニューアルされ、求人側では求人者マイページからオンライン求人申込みやハローワークへの採否連絡ができるようになりました。

そのHWISに、本年9月21日より新機能が追加されます。今回はHWISに新しく追加される機能についてみていきたいと思います。

① 事業主向け3つの新機能

今回、追加される事業主向け新機能として3つあります。①オンラインハローワーク紹介が利用できる、②求職者からオンラインで応募があった場合、応募書類の管理や採否入力の効率化、③求職者からの応募を直接受けることができる(オンライン自主応募)の3つです。

② 新機能の目玉「オンライン自主応募」とは?

オンライン自主応募とは、HWISに掲載した求人、求職者がハローワークを介さずマイページを通じて直接応募すること。ただし、オンライン自主応募はハローワークの職業紹介ではないため、ハローワーク等の職業紹介を要件とする助成金の対象とならないので注意が必要です。

③ オンライン自主応募により何が変わる?

オンライン自主応募では、ハローワークに求職者登録せず、HWISのみの利用でも応募できるため、応募者層が広がる可能性があります。

ただし、求職者は一度に多くの求人に応募ができるため、問い合わせは増えたけど、自社にあった人材かどうかおミスマッチが増えることが考えられます。

求人者は、仕事内容をわかりやすく説明し、求める人物像をより具体化した求人の作成と、応募後の選考する「目」も養っておく必要がありそうです。



事務所日誌

●8月の事務所の活動

- 7日 オンラインにてランチェスター経営竹田陽一先生 夏期講習に参加
- 17日 オンライン早朝読書会「いばら朝喝同好会」に参加
- 24日 オンラインにてゆうかつ(読書会)を開催
- 31日 せのじむTV 開始



■編集好き

▼小学校1年生の息子が初めての夏休み。宿題ができるか不安でしたが、いちばん難しかった作文が無事書けて、ほっとしています。まるで、親の宿題のようでした(;; (YS)



●職場の「不」を「和」にするフワちゃんプロジェクト



先日、オンラインで開催した職場の「不」を「和」に変え実力を発揮してもらうフワちゃんプロジェクト。当事務所でも研修として開催しました。

●参加したメンバーの感想をご紹介します

- ・自分の職場に対する思いを視覚化でき、整理することにつながった
- ・不の解消や改善するヒントとして、「私の行動カード」があったので、考えやすかった